保育計画成果報告書

法人名	社会福祉法人ながやま福祉会
施設名	ながやまこども園
報告者（役職）	奥　友美（園長）
住所・連絡先	和歌山県紀の川市貴志川町長山 277-781
	☎　0736-64-6633 E-mail　nagayamahoikuen6633@gmail.com

○タイトル（保育計画書）

災害に備えた危機管理 安心安全 ～子どもの命を守る

○主な助成備品

避難用滑り台全面改修

１.保育計画策定の目的

●災害が発生した場合、当こども園には子どもたちを安全に避難させ、その大切な命をまもり抜くという重要な使命が与えられています。また近年は豪雨・台風・火災などの大きな災害の発生や不審者侵入による事件も起こっており、こども園における防災・防犯意識の更なる向上と対策が重要視されています。子どもの安全安心な生活を守るため、日常からできること、いざという時の的確な判断力、十分備えて毎日の生活に即した防災対策（特に避難訓練）については、職員間で話し合い、安全教育及び防災教育としての情報を共有し、以下の目標を揚げ定期的に訓練を実施しています。

●保育の目的

・災害発生時はいかなる状況下であっても冷静な判断ができ、的確な対応ができる
・適切な指示を出して、いかに子どもたちを落ち着かせ安全に避難できるかを確認する
・避難時の問題点を把握点検し、より安全に避難できるように改善する

●子どもたちへの保育目標

・いかなる状況下でも保育士の指示をしっかりと聞いて安全への知識、理解を深める
・訓練を繰り返し行うことにより避難時の約束が身につき俊敏に避難できる

避難訓練では園児は低年齢で自分で判断して行動することは不可能なため、避難安全確保には、職員の避難援助者の果たす役割は非常に大きいと感じています。こうした中で、保育施設の現状を再確認したところ、避難訓練における避難時の問題点として、保育士間で避難用滑り台の経年劣化による不備が指摘されました。避難設備の不安を抱いている状況の中、子どもたちに安全安心な保育環境を維持するため、避難用滑り台の全面改修は是非とも必要だと考え、第一生命様からのご提案いただいた保育所等助成事業に申し込みさせていただきました。

２.具体的な実施内容

避難用滑り台の全面改修の完成

館内放送により、保育士の
指示に従って避難する

保育士に介助されながら、恐がらず避難できるようになりました

避難車に乗り第一避難所へ移動(1 歳児)

保育士に抱かれ非常
階段での避難をする
(0 歳児)

第一避難場所にて待機する
クラスごと人数確認・人数報告を行う

３.その成果と評価

避難用滑り台の全面改修で、ステンレス構造・寸法・強度など、最新の安全基準を満たした設備となり、滑り台底面及び側面の凹凸が改善され１歳児でも保育士の介助で、よりスピーディーで安全に降下でき、非常階段と併用して短時間で子どもたちの大量脱出が可能となりました。又、滑り台での訓練時間短縮に伴い、他の訓練への時間配分、人員配置の余裕など、避難訓練自体の質の向上に繋がると共に他の保育活動においても計画的に展開でき業務効率化にも繋がりました。

４.今後の課題と展望

こども園のまわりの地域環境を把握し、保護者の方に園の避難方法・避難場所・指定緊急避難場所を改めて周知していただくと共に、災害など緊急時の連絡方法や引き渡しルールの取り決めとして、保護者の方にご協力いただき「園児の引き渡しカード」を作成しました。

当こども園の職員一同、家庭や地域との連携を図りながら安心安全な保育に心がけ、園全体を一つの家族として子どもたちの成長を見守っていきたいと思います。

以上